

# 令和2年度 県高総体ソフトテニス競技交流大会 競技・運営上の注意

長崎県高体連ソフトテニス競技専門部

## 【競技運営上の注意】

1. 本大会は、令和2年度(公認)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに沿って行う。
2. マッチは、すべて7ゲームとする。
3. ベンチは、組合せ番号の小さい方が、男女共プール側とする。
4. ボールは男子がケンコ-ボール、女子がアカエムを使用する。
5. 進行に協力するために次のことを守ること。  
(ア) マッチ前の呼び出しは原則として行わないので、進行には十分注意し、つぎのマッチのプレーヤーはすみやかに所定のベンチに入ること。(審判が準備してから3分経過してもプレーヤーが出場しない時は棄権とすることがある)  
(イ) マッチ開始前の練習は1分以内とする。ただし、進行の都合で省略することがある。
6. マッチ中は、競技規則に従いプレーをすること。(規則第16条)
7. マッチ中は、連続的にプレーすること。(パートナー同士の打ち合わせは、マッチの進行に支障となる状態で行うことはできない。)(規則第15条)
8. マッチ中、相手を不快にするポーズをしたり、過度のかけ声をしたりすることは禁じる。(応援する場合も同様)(規則第15条)
9. (1) プレーヤーはプレーの進行および判定に関しアンパイヤーに対して異議を申し立て、または結果を不服として故意にプレーを中断したりしてはならない。  
(2) 前項の規定はプレーヤーがアンパイヤーに対して質問をすることを妨げるものではない。ただし質問に対する結果については前項の規定を適用する。(規則第40条)  
(3) 質問、提訴は個人戦の時はプレーヤー、団体戦の時はチームの監督又はそのプレーヤーのいずれかがアンパイヤーに申し立てることができる。ただし、ポイントの判定についてはそのポイントに限る。(第40条解説17)
10. 競技用具及び服装は、連盟が公認した物を使用すること。規定のゼッケンを背中に付け四隅を留めること。監督・ベンチ入り指導者の服装、シューズも選手に準ずる。
11. マッチ中のコーチは、サイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合のプレーヤーの移動時間も含めた1分以内とする。(規則第15条)
12. 今大会のベンチコーチはありません。

## 【審判に関する心得】

1. 正審は、選手の名前を確認し、判定については大きな声でコールする。
2. 副審は、サービスの判定後敏速に中央に移動し、イン・フォールト・アウト以外のその他の判定区分(レット、チップ、ネットタッチ等)に対してはサインと共に大きな声でコールする。
3. 試合終了後、採点票を勝者に渡し本部に持っていかせる。またボールの管理をする。  
(試合終了後審判台の下に置く)
4. 審判をする場合には、2級審判員以上の有資格者は左胸にワッペンを着用すること。

## 【会場使用上の注意・その他】

1. 今大会は、県高総体中止に伴う3年生のこれまでの練習の成果を発表する機会として開催する。
2. 参加者は大会当日(別紙1)参加書面を提出すること。(検温を自宅で行ってこること。)
3. 一般応援者は、大会当日(別紙2)参加書面を提出すること。(当日記入でも可とする。)
4. 試合中、ベンチ後ろからの応援は間隔を開けて静かに観戦する。(拍手のみとし、太声を発しない。)
5. 試合開始・終了時は挨拶のみとし、握手はしない。
6. 試合中以外はマスクを着用し、試合前後の手洗い・うがい等を必ず行うこと。
7. 会場や観客席を汚さないよう、各校とも責任をもって処理すること。
8. 指定された場所以外での練習は行わないこと。特に駐車場や通路での練習は厳禁とする。
9. 屋根付きスタンドについては一般の応援者用とするため各校のベンチは取らないこと。プライベートテントについては、定められた範囲に設置すること。
10. トイレ等の施設をきれいに使用すること。(シャワー室の使用は禁止)
11. 貴重品については各学校で管理し、盗難等にあわないようにすること。
12. 試合終了後各学校で周辺を清掃して帰る。ゴミは必ず持ち帰る。保護者や応援者も同じ。
13. 弁当注文については各学校で責任を持って行い、本部からの呼び出しは一切行わない。